

## 希学園 第406回 小5公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第406回公開テスト 小5算数 解説動画(2026年3月8日実施)	<a href="https://vimeo.com/1171252586/1bc8e48009">https://vimeo.com/1171252586/1bc8e48009</a>

1

(1)	2026	(2)	106.8	(3)	$2\frac{27}{47}$
-----	------	-----	-------	-----	------------------

(4)	4.5	(5)	334	(6)	50
-----	-----	-----	-----	-----	----

(7)	510	(8)	23.08 (m)	(9)	1480000 (cm <sup>2</sup> )
-----	-----	-----	-----------	-----	----------------------------

(10)	<sup>ア</sup> 1 (時間)	<sup>イ</sup> 37 (分)	<sup>ウ</sup> 22 (秒)	(10); 完答
------	------------------------	------------------------	------------------------	----------

2

(1)	1	(2)	182	(3)	128 番目
-----	---	-----	-----	-----	--------

3

(1)	4	(2)	40	(3)	14
-----	---	-----	----	-----	----

4

(1)	10 回	(2)	24 回	(3)	8 回
-----	------	-----	------	-----	-----

5

(1)	45.5 cm <sup>2</sup>	(2)	34 cm <sup>2</sup>	(3)	36 cm <sup>2</sup>
-----	----------------------	-----	--------------------	-----	--------------------

6

(1)	10 通り	(2)	12 通り	(3)	24 通り
-----	-------	-----	-------	-----	-------

(配点) 各4点×25

①(3)  $6\frac{2}{47} - (1\frac{9}{47} + 3\frac{17}{47}) + 1\frac{4}{47} = 6\frac{2}{47} - 4\frac{26}{47} + 1\frac{4}{47} = 2\frac{27}{47}$

(4)  $3.2 \times 4.5 - 5.5 \times 1.8 = 14.4 - 9.9 = 4.5$

(5)  $124 + 12 \times 4 + (51 \times 9 + 351) \div 5$   
 $= 124 + 48 + 810 \div 5 = 172 + 162 = 334$

(6)  $421 + (432 - 82) \div \square \times 5 = 456$   
 $350 \div \square \times 5 = 456 - 421 = 35$   
 $350 \div \square = 35 \div 5 = 7$   
 $\square = 350 \div 7 = 50$

(7)  $12 \times 51 + 34 \times 25 - 56 \times 17$   
 $= 12 \times 17 \times 3 + 17 \times 2 \times 25 - 56 \times 17$   
 $= (36 + 50 - 56) \times 17 = 30 \times 17 = 510$

(8)  $21.8\text{m} + 32\text{cm} \times 4 = 21.8\text{m} + 0.32\text{m} \times 4$   
 $= 21.8\text{m} + 1.28\text{m} = 23.08\text{m}$

(9)  $2.5\text{a} - \square \text{cm}^2 + 12\text{m}^2 = 114\text{m}^2$   
 $\square \text{cm}^2 = 2.5\text{a} + 12\text{m}^2 - 114\text{m}^2$   
 $= 2500000\text{cm}^2 + 120000\text{cm}^2 - 1140000\text{cm}^2 = 1480000\text{cm}^2$

(10)  $4\text{時間}19\text{分}8\text{秒} - 1\text{時間}20\text{分}53\text{秒} \times 2$   
 $= 3\text{時間}77\text{分}128\text{秒} - 2\text{時間}40\text{分}106\text{秒}$   
 $= 1\text{時間}37\text{分}22\text{秒}$

② 3, 1, 4, 1, 5の5個1セットがくり返す群数列。  
 1セットの和は,  $3 + 1 + 4 + 1 + 5 = 14$

(1)  $92 \div 5 = 18$ (セット)あまり2(個)なので, 19セット目の2個目。よって, 3, 1。

(2)  $65 \div 5 = 13$ (セット)なので,  $14 \times 13 = 182$

(3)  $358 \div 14 = 25$ (セット)あまり8(=3+1+4)なので,  
 $5 \times 25 + 3 = 128$ (番目)

③(1)  $1875 \div 5 = 375$ ,  $375 \div 5 = 75$ ,  $75 \div 5 = 15$ ,  $15 \div 5 = 3$ ,  
 $3 \div 5 = 0$ あまり3より,  $[1875, 5] = 4$

(2)  $[A, 2] = 3$ となるAは, 2で3回割れるので, 8で割れる数。ただし, 8で割った商が, 2で割れる数になってしまうと, 2で4回以上割れる数になってしまうことに注意する。よって順に,  $8 \times 1$ ,  $8 \times 3$ ,  $8 \times 5 = 40$

(3) 3から30までで, 3で割れる数は全部で10個。  
 そのうち, 3で3回割れるのが27のみ。3で2回割れるのが9と18, 1回割れるのが, それら以外の7個ある。  
 よって,  $3 \times 1 + 2 \times 2 + 1 \times 7 = 14$

④(1) 入場料に2000円の差があり, 乗り物1回につき200円ずつ差が縮まるので,  $2000 \div 200 = 10$ (回)

(2) 入場料で合わせて,  $1500 + 3500 = 5000$ (円)なので, 乗り物のみで,  $20600 - 5000 = 15600$ (円)となる。  
 A2回とB1回で,  $500 \times 2 + 300 \times 1 = 1300$ (円)なので,  
 $15600 \div 1300 = 12$ (セット) → Aは,  $2 \times 12 = 24$ (回)

(3) 乗り物のみで,  $12600 - 5000 = 7600$ (円)になればよい。

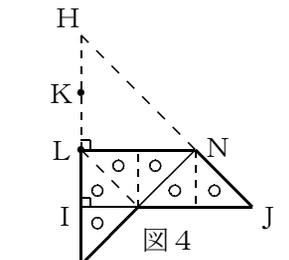
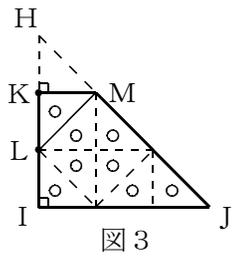
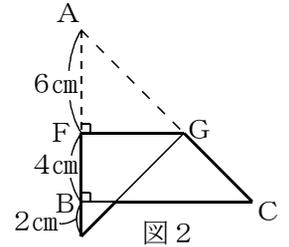
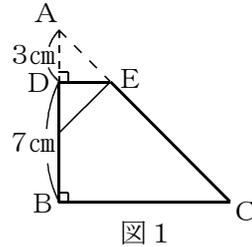
A	0	1	2	...	8
B	20	19	18	...	12
合計	6000	6200	6400	...	7600

上の表より,  $(7600 - 300 \times 20) \div (500 - 300) = 8$ (回)

⑤(1) 折り返した三角形ADEの面積を全体から引けばよい。  
 $10 \times 10 \div 2 - 3 \times 3 \div 2 = 50 - 4.5 = 45.5$ (cm<sup>2</sup>)

(2) 図2のように, 底辺BCからはみ出す三角形に注意する。  
 $50 - 6 \times 6 \div 2 + 2 \times 2 \div 2 = 50 - 18 + 2 = 34$ (cm<sup>2</sup>)

(3) KMで折り返した図形は, 図3のように, 同じ直角二等辺三角形8個分になるので, 1個分の面積は,  $48 \div 8 = 6$ (cm<sup>2</sup>)  
 LNで折り返した図形は, 図4のように, 図3と同じ直角二等辺三角形6個分になるので,  $6 \times 6 = 36$ (cm<sup>2</sup>)



⑥(1) 1回目の数で場合分けをする。  
 $1 \rightarrow 4$ か5,  $2 \rightarrow 3 \sim 5$ ,  $3 \rightarrow 2 \sim 5$ ,  $4 \rightarrow 5$ ,  $5 \rightarrow \times$   
 よって,  $2 + 3 + 4 + 1 + 0 = 10$ (通り)

(2) Eに何回目に止まるかで場合分けをする。  
 <1回目にEに止まる時>  
 1回目は4であり, 残り2回でAからEまでゴールする必要がある。2回でゴールする方法は, (1)より10通りあるが,  $4 \rightarrow 5$ の場合は, Eを2回通るためふくまない。  
 よって,  $10 - 1 = 9$ (通り)

<2回目にEに止まる時>  
 1回目と2回目の合計は4であり, 3回目でAからFまでゴールする必要がある。1回目と2回目の組み合わせは, (1, 3), (2, 2), (3, 1)の3通り。3回目は5のみ。  
 よって,  $3 \times 1 = 3$ (通り)  
 したがって,  $9 + 3 = 12$ (通り)

(3) Eに何回止まるかで場合分けをする。  
 <Eに1回も止まらない時>  
 1回目と2回目はE, Fに止まらないので, 合計が3以下であり, 3回目でゴールする必要がある。  
 (1, 1, 3~5), (1, 2, 2~5), (2, 1, 2~5)  
 より,  $3 + 4 + 4 = 11$ (通り)

<Eに1回だけ止まる時>  
 (2)より, 12通り。  
 <Eに2回止まる時>  
 1回目, 2回目はEに止まり, 3回目でAからFまでゴールする必要がある。よって, (4, 4, 5)の1通り。  
 したがって,  $11 + 12 + 1 = 24$ (通り)

(配点)各4点×25